

3号機CST原子炉注水ポンプ（B）の停止について

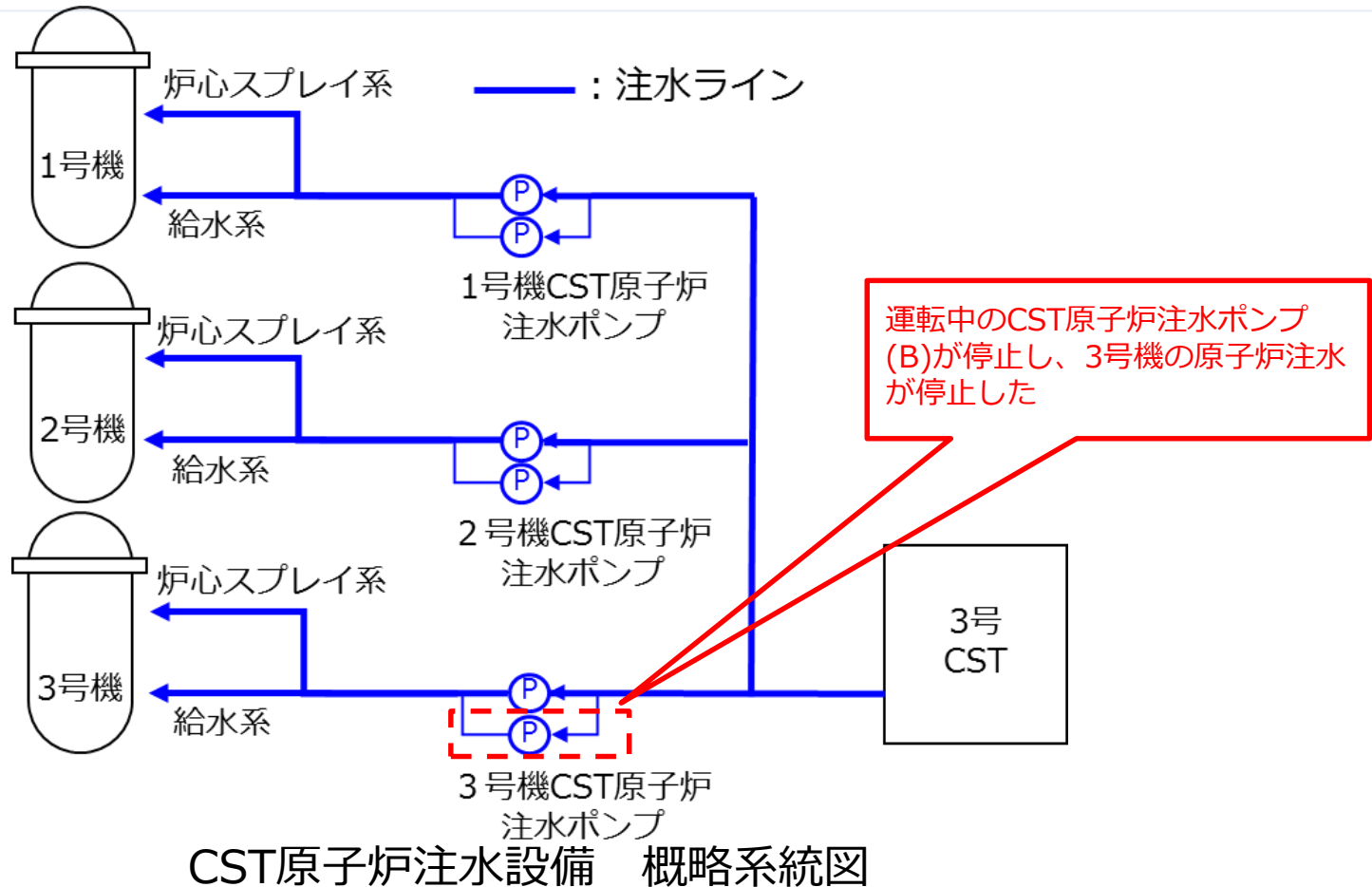
2016年12月20日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 2016年12月5日、3号機復水貯蔵タンク(以下、CST)原子炉注水設備の計器点検作業中に、協力企業作業員が運転中の注水ポンプ(B)の操作スイッチカバーに防護服を引っ掛け、操作スイッチを停止側に動作させた。
- その後、3号機原子炉注水状況を確認し、注水が停止しているため、実施計画第Ⅲ章第18条(原子炉注水系)運転上の制限を逸脱していると判断した。



2. 時系列

2016年12月5日(月)

- ・ 08:55 3号機CST原子炉注水設備計装品点検開始
- ・ 10:00 頃 計装品の校正作業が完了、片付けに着手
- ・ 10:02 協力企業作業員が注水ポンプ(B)の操作スイッチカバーに誤って接触
作業員は接触後、注水ポンプ(B)の運転状態表示ランプが緑(停止)であることならびに制御盤で以下の警報発生を確認
 - 「#3 CS系ライン供給圧力 低」
 - 「#3 FDW系ライン供給圧力 低」
- ・ 10:02 免震棟の協力企業作業員は監視装置で以下の警報の発生を確認したが、当該警報は計装品の点検作業によるものと当直員へ連絡(※ 当日の計装品点検の中で発生する警報と同じ警報であったため、作業による警報発生と誤認)
 - 「3号CST炉注設備 CS系ライン供給圧力 低」
 - 「3号CST炉注設備 FDW系ライン供給圧力 低」
- ・ 10:10 作業員から連絡を受けた協力企業現場責任者より、当社工事監理員へ注水停止の可能性を連絡
当社工事監理員は状況確認のため当該作業現場へ移動
- ・ 10:24 当社工事監理員より設備保全箇所グループマネージャーへ、注水停止の可能性を報告
- ・ 10:28 設備保全箇所グループマネージャーより当直長へ、注水停止の可能性を連絡
- ・ 10:30 当直長が3号機原子炉注水ポンプが停止していることを確認し、第18条(原子炉注水系)運転上の制限からの逸脱を宣言
- ・ 10:58 25条通報発信
- ・ 10:59 当直員が現場で異常がないことを確認した後にCST原子炉注水設備の注水ポンプ(A)を起動し、原子炉注水を再開
- ・ 11:00 現場異常なしを確認、運転上の制限からの逸脱復帰を宣言

3. 作業員配置状況

作業員配置

